

12GPa までの誘電率測定 of 技術開発 – 高圧中性子回折実験との 融合を見据えて

山根 峻 (東北大学 金属材料研究所)

発表者は含水物質において、水分子の存在が含水物質の構造・物性に与える影響に興味をもっている。その中で、誘電率は水分子のダイナミクスを観測できる有用なプローブである。水素結合の幾何学的な柔軟性にもとづく含水物質の圧力研究の重要性と相まって、これまで測定圧力領域に応じた誘電率測定セルを開発してきた。この技術開発では、含水物質の構造研究で重要な中性子回折測定との相補研究や同時測定に向けた技術融合を念頭に置いており、本発表では誘電率測定 of 技術開発 of 話題に加えどのように中性子回折実験と融合させていくかといった展望もお話したい。